

○提案内容

**(1) 実現したい都市のビジョン**

府中市は、中心市街地活性化計画、立地適正化計画を策定して、市街地でのまちづくりを進めています。一方で市域の約8割が山林という地形から、地域によっては高齢化率が50%を超え、買い物にも苦労しているところも出てきています。また、昨年7月の豪雨災害の際には主要幹線道路が被災し、長期間通行止めになったことにより半ば孤立状態になった地域も出ています。こういった状況から、将来的には中山間部での高齢者、若者、子ども、また旅行者にとっての快適な移動手段が、地形や環境に関わらず張り巡らされ、買い物、通院、観光など移動についてストレスフリーな都市を目指すものです。

府中市は古くからものづくりのまち(木工、繊維、金属機械、鉄工等)として発展してきましたが、近年の景気動向や生活スタイルの変化等で業績等も伸び悩んでいる状況です。そういったなかで、AIやIoTを活用し、スマートシティ構築に向けた技術開発や新業態への進出も必要と考えます。

特に近い将来には、広大な空の空間を活用した無人航空機によるヒトやモノの移動が重要な手段となると考えられるため、研究開発を含めた府中市のものづくりの技術を活かしたまちづくりをすすめます。

これらを進めるためには高速情報通信基盤も必要であり、今年度実験が開始される5Gについては早期導入を目指している。

**(2) 新技術の導入により解決したい都市の課題**  
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ		課題の分類
(ア) 交通・モビリティ	高齢者の移動手段の確保、人手不足への対応のための自動運転の早期実現 MaaSの導入による移動手段の提供	(ア) 交通・モビリティ (ウ) 防災 (オ) 観光・地域活性化 (コ) 物流
(ウ) 防災	災害時の緊急移動、物流ルート、手段の確保 災害時における水位監視	
(オ) 観光・地域活性化	無人航空機の製造、実証実験による地域活性化 移動手段の利便性向上による市民、観光客等の利便性提供	
(コ) 物流	山間部や災害時における物流ルート、手段の確保	

**(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)**

- ①荒天時においてもヒトやモノを運ぶことが可能な無人航空機の導入  
市内にある該当機体メーカー(AileLinX)との連携
- ②AIを活用したMaaSの導入(自動運転を含む)  
大手通信事業者等との連携
- ③スマート水位計の導入

**(4) 解決の方向性(イメージでも可)**

- ①国土交通省が示す「空の移動革命に向けたロードマップ」に応じた技術開発や制度整備のため、府中市に国家戦略特区を活用した無人航空機の実証実験フィールドの設置→→ドローンタクシー
- ②大手通信事業者等と連携した、オンデマンドモビリティサービスの実証実験→→自動運転

**(5) その他**

今年度「府中市地域公共交通網形成計画」を策定中で、将来のスマートシティの実現に向け取り組むこととしている。

無人航空機の活用については、府中市内に世界的にも有数の技術を持つ企業があることから、府中市を無人航空機産業の研究、開発の拠点とすべく社会実装の場とする構想を持っている。

この構想については、府中市、商工会議所、地元企業、民間の推進団体による「官民検討会」を設立して検討、協議を重ねている。この中では航空機産業の人材育成のための高等教育機関設置を目指すことを含めている。

**○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)**

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
総務部企画財政課	豊田、能島	0847-43-7114	<a href="mailto:kizai@city.fuchu.hiroshima.jp">kizai@city.fuchu.hiroshima.jp</a>